

冬季アジアで銀メダル

過去最多数のメダルを獲得した冬季アジア大会に出場したスピードスケートの中村奨太選手が17日、団体追い抜きでの銀メダル獲得報告のため来庁。12月のワールドカップでのメダル獲得で自信をつけ、臨んだアジア大会でしたが、思いどおりの結果を出せなかったと振り返りました。体調を整え、直後の世界選手権大会では8位、ワールドカップ最終戦で団体追い抜き銅メダル、個人種目で8位に入賞と来季につながる結果に。平昌五輪出場に向け、瀧町長の期待も膨らみます。



郷土芸能の発展に貢献

19日、清志民謡会創立25周年、畠山桂星師範民謡歴50周年、さらには西本昇蘭師最高師範授受を記念した民謡発表会が開催され、招かれた瀧町長より「民謡を愛する師範が、半世紀にわたって民謡ひとつにかける情熱と卓越した指導力をもって今日までの繁栄に至っているのではと感服している」とあいさつ。全員合奏の秋鮭大漁節で開演した発表会は、総勢60名ほどの会員と近隣の舞踊や民謡会の皆さんによって、盛会裏に幕を閉じました。

氷上で熱戦繰り広げ

25日から27日にかけて、スポーツセンターで第11回A B I R A ミクニカップキッズアイスホッケー大会が開催。全道6地区から12チームが参加し、優勝を目指し氷上の熱い試合が行われました。決勝戦は、清水御影アイスホッケー少年団とチーム鉤路。最終の第3ピリオドまで互いに譲らない試合を展開。最後に清水御影が勝ち越しゴールを決め、そのままリードを守り抜き、2対1で清水御影が優勝に輝きました。



ありがとう旭保育園 45年の歴史に閉幕

追分地区に分散していた幼児保育・教育施設の統合により、今年度をもって閉園することになった、へき地保育所「追分旭保育園」で22日、閉園式が行われました。以来約45年もの間、開設地や名称を変えながら、農村地区の幼児教育を支え、安心して農作業を行える環境としての役割を果たしてきた旭保育園。閉園にあたり豊島教育長は「閉園を迎え色々な思いがこみ上げてくる。旭保育園で培った歴史、伝統を胸に秘め受け継いでいってほしい」とあいさつ。在園児が揃って最後の出し物が参列者に披露されるなど、ささやかに閉園を迎え閉幕となりました。



▼旭保育園のあゆみ
昭和47年5月 本安平秩父会館に「季節保育所」として開設。のちにへき地保育所となる。
昭和48年11月 字名地番改正により、「旭へき地保育所」に名称が変更。
平成19年4月 明春辺保育園と旭保育園が統合し「旭保育園」として開設
平成29年3月 追分地区の3園統合のため閉園